

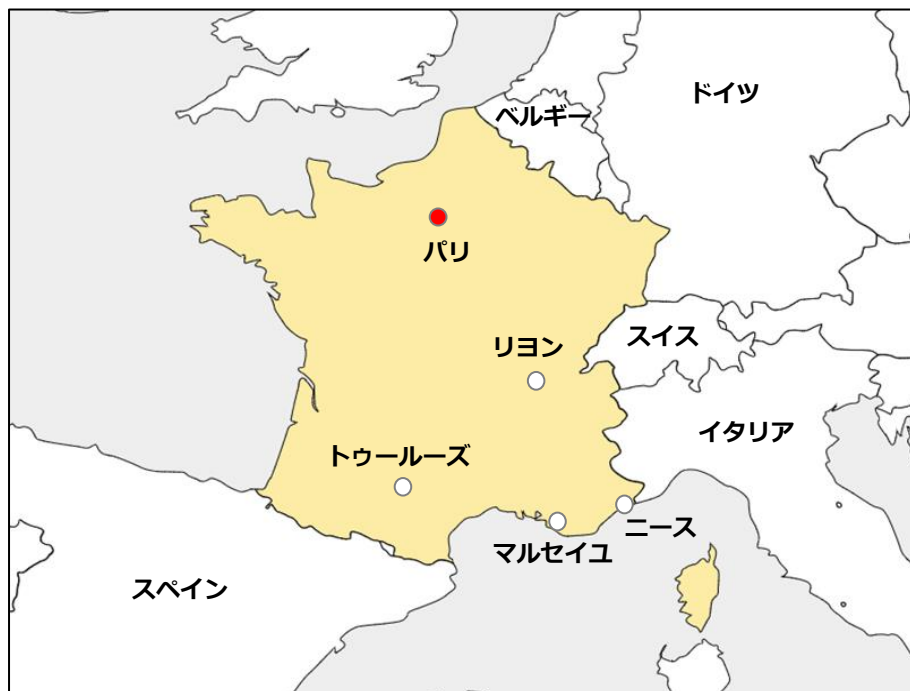
スポーツ産業国際展開カントリーレポート

スポーツ産業の市場環境等に関する基本情報



フランス共和国

French Republic



都市名	人口 (万人)
パリ	221
マルセイユ	86
リヨン	51
トゥールーズ	47
ニース	34

出所) 国際連合「Demographic Yearbook System」(2015年時点)

目次

スポーツ関連

【市場情報】

- スポーツ産業市場規模推移 2
- 主要コンテンツ市場情報 3
- スポーツ産業従業者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上 4

【スポーツ習慣】

- 現地で盛んな競技 5
- 一人当たりスポーツ支出 7
- 主なスポーツリーグ・スタジアム 8

【業界情報】

- 日本のクラブチームとの連携クラブ概要 10
- 現地主要企業 11
- 教育分野におけるスポーツの活用動向 13
- スポーツ産業に係る日本企業の進出状況 14

【展示会、国際競技大会等開催情報】

- 商談会・展示会開催情報 15
- 国際競技大会開催情報 19

【政策動向】

- スポーツ基本計画概要 20
- SDGsへのコミットメント、SDGs×スポーツの取組 21

一般概況

【経済】

- 人口動態、および人口成長率・年齢別人口構成 24
- GDP、GDP成長率、一人当たりGDP 25
- 世帯所得分布 26

【健康・医療】

- 医療費支出 27
- 疾病構造・死亡要因 28

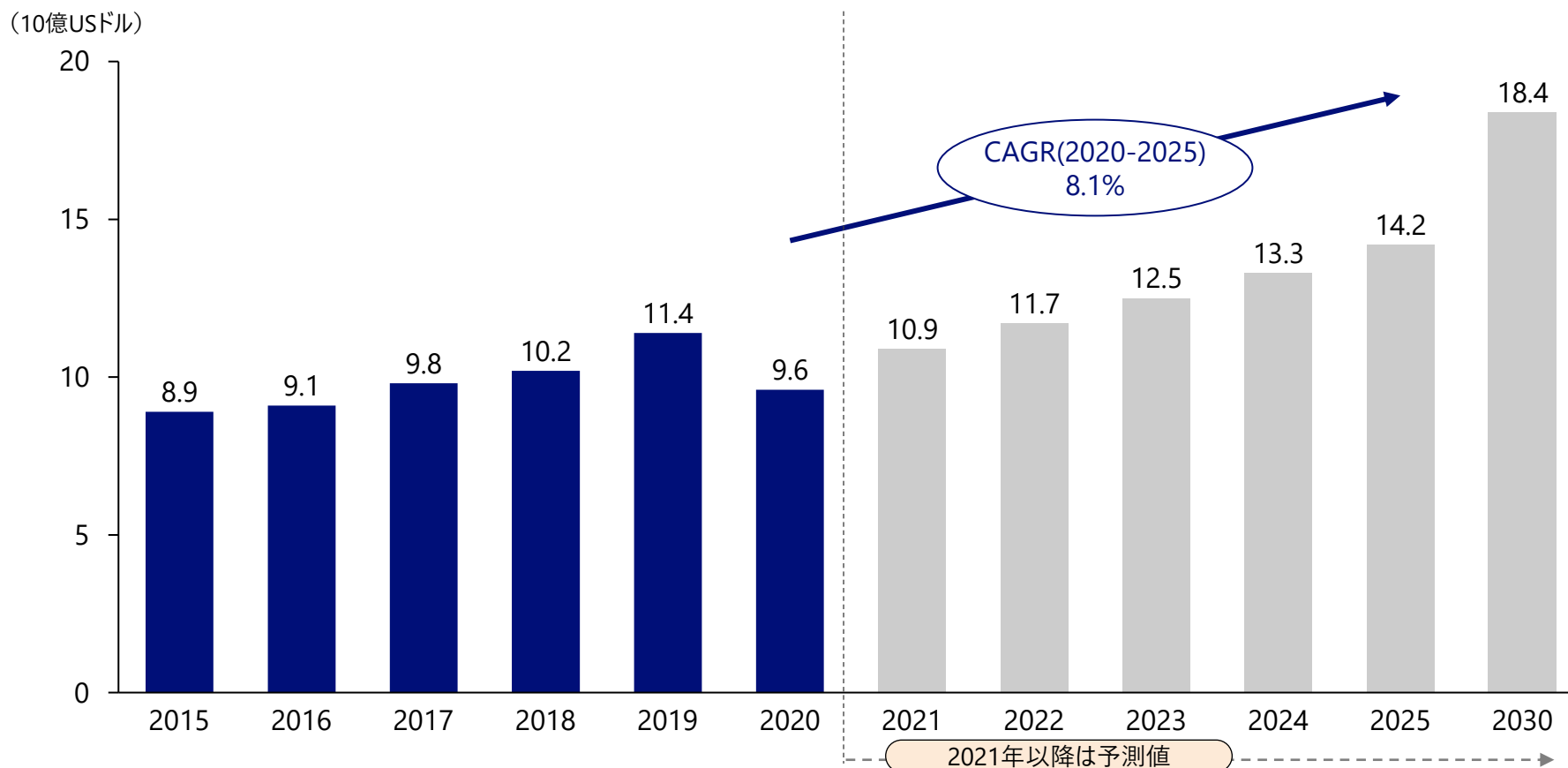
【規制】

- 外資に関する規制 29

スポーツ産業市場規模推移

- 2020年のフランスにおけるスポーツ産業市場規模は約96億ドル（約1.1兆円）。CAGR（2020-2025）は8.1%。
 - 2024年にパリで夏季オリンピック大会が予定されており、開催国としてスポーツ産業市場の成長が見込まれている。

スポーツ産業市場規模推移



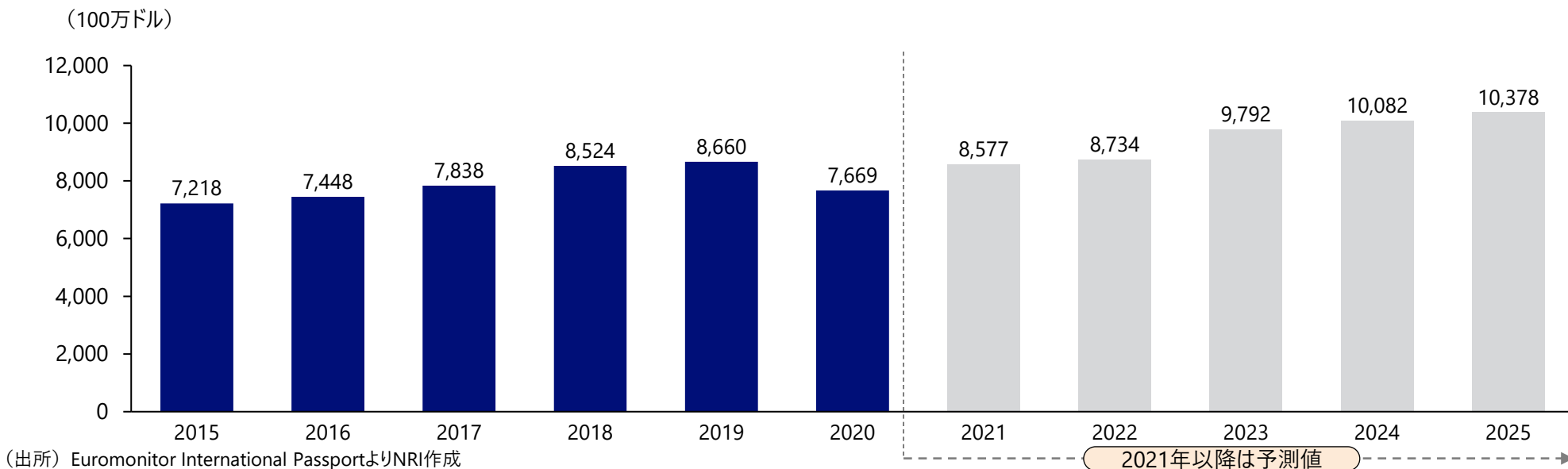
主要コンテンツ市場情報 (スポーツ用品市場)



スポーツ用品市場

- 2020年のフランスのスポーツウェア市場は約77億ドル。コロナの影響で市場規模は12%落ち込んだが、ASEAN諸国と比較すると減少幅は小さい。
- 2020年はAdidas Group、Nike France SA、Decathlon SAが13%~16%の市場シェアを獲得しており、リードしている。
- フランスでは近年、女性のスポーツ・フィットネス参加が拡大。女性向けのスポーツウェア市場はコロナ後も拡大が見込まれる。
 - SNSで見かける有名人のスポーツファッションをまねる人も多く、女性向けのラインナップの拡充は優先度が高いとされる。

スポーツウェア市場規模推移



スポーツ産業従業者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上

- フランスにおけるスポーツ産業の従業者数割合は0.13%。
- 日本と比較すると、1事業者当たりの売上は少ない一方事業者数は多く、小規模事業者の割合が高くなっている。

スポーツ産業従業者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上

国	スポーツ産業 従業者数割合 (%)	スポーツ産業事業者数	1事業者当たりの売上 (ドル)
サウジアラビア	0.30%	25,467	122,437
イギリス	0.26%	72,371	231,733
アメリカ	0.22%	43,441	2,823,163
シンガポール	0.16%	996	1,851,950
韓国	0.13%	24,357	272,094
フランス	0.13%	34,663	276,974
フィリピン	0.12%	7,802	196,463
日本	0.10%	20,164	1,254,952
インドネシア	0.09%	86,631	37,777
中国	0.08%	160,508	342,474
タイ	0.08%	14,659	145,558
ベトナム	0.05%	1,821	450,457
インド	0.05%	173,683	16,521
オーストラリア	0.03%	3,036	1,946,384

※...「一人当たりスポーツ支出」は2020年の値。「スポーツ産業従業者数割合」は全人口に対するスポーツ産業従業者数の割合

現地で盛んな競技 (1/2)

- 国内の人気スポーツとしてサッカー、ラグビー、テニス、サイクリング、モータースポーツに加え、柔道や水泳、陸上競技等が挙げられる*。国内に約240のスキーリゾートがある。
- 国際大会で好成績を収めているスポーツは、柔道、フェンシング、セーリング等。
- 休日には市が運営している安価なスポーツプログラム (ダンス・体操・柔道・水泳・球技) に登録している子供がほとんど。中学生になると、義務教育の一環として毎週スポーツ教育を受ける。

東京2020大会におけるフランスの競技別メダル獲得数

オリンピック

競技	メダル総数	金	銀	銅
柔道	8	2	3	3
フェンシング	5	2	2	1
セーリング	3	0	2	1
ハンドボール	2	2	0	0
ボート	2	1	1	0
バスケットボール	2	0	1	1
自転車競技 (トラック)	2	0	0	2

競技	メダル総数	金	銀	銅
空手	1	1	0	0
射撃	1	1	0	0
バレーボール	1	1	0	0
競泳	1	0	1	0
7人制ラグビー	1	0	1	0
陸上競技	1	0	1	0
テコンドー	1	0	0	1
トライアスロン	1	0	0	1
馬術	1	0	0	1

(出所) Olympics.com「メダル順位」、現地アンケート調査よりNRI作成

現地で盛んな競技 (2/2)

東京2020大会におけるフランスの競技別メダル獲得数

パラリンピック

競技	メダル総数	金	銀	銅
バドミントン	2	1	1	0
トライアスロン	2	1	0	1
カヌー (スプリント)	2	0	1	1
柔道	2	0	1	1
パワーリフティング	2	0	1	1
ボート	2	0	0	2
車いすテニス	1	1	0	0
車いすフェンシング	1	0	0	1

競技	メダル総数	金	銀	銅
自転車競技 (ロード)	11	3	3	5
卓球	11	2	2	7
陸上競技	8	1	3	4
自転車競技 (トラック)	5	2	1	2
水泳	5	0	2	3

一人当たりスポーツ支出

■ フランスにおける2020年の一人当たりスポーツ支出は147.7ドル (約17,000円)。

一人当たりスポーツ支出 (国別)

国	一人当たり スポーツ支出 (ドル)
アメリカ	371.6
シンガポール	319.7
イギリス	249.4
オーストラリア	229.7
日本	201.2
フランス	147.7
韓国	128
サウジアラビア	89.7
中国	39.1
タイ	30.6
フィリピン	14.1
インドネシア	12.1
ベトナム	8.4
インド	2.1

※...「一人当たりスポーツ支出」は2020年の値。

(出所) Sports Global Market Opportunities And Strategies To 2030

主なスポーツリーグ

■ フランスでは、1920年代からバスケットボール・野球、1930年代からラグビー・サッカーのプロリーグが活動している。

フランスにおける主なスポーツリーグ

リーグ名称	競技	設立年	チーム数	開催時期	観客動員数*	主要チーム**	主要スポンサー***
TOP14	ラグビー	1934	14	9月~6月	270万人 (年間)	<ul style="list-style-type: none"> Stade Toulousain Stade Rochelais Racing 92 	<ul style="list-style-type: none"> SOCIETE GENERALE, GMF
Ligue Nationale de Basket Pro (LNB)	バスケットボール	1921	18	9月~6月	不明	<ul style="list-style-type: none"> Boulogne-Levallois SIG Strasbourg A.S. Monaco Basket 	<ul style="list-style-type: none"> FFBB, Betcltic, TCL, Best Western, Spalding
Division 1	野球	1926	11	4月~7月	不明	<ul style="list-style-type: none"> Rouen Baseball 76 Senart Templiers MUC Barracudas Baseball 	<ul style="list-style-type: none"> Major League Baseball, Little League, New Era, Teammate
リーグ・アン	サッカー	1930	20	8月~5月	826万人 (年間)	<ul style="list-style-type: none"> LOSC LILLE Paris Saint Germain A.S. Monaco 	<ul style="list-style-type: none"> Uber Eats, Point.P, Betcltic, Hollywood, uhlsport, LA poste, Canal+, Prime Video, Free

*TOP14は2014-2015シーズン、リーグ・アンは2019-2020シーズンにおける観客動員数

**直近のシーズンにおける順位上位チームを記載

***リーグの主要スポンサーを記載

主なスタジアム

フランスにおける主なスタジアム

スタジアム名	都市	収容人数	設立年
Stade de France	サン＝ドニ	81,338	1998
Orange Vélodrome	マルセイユ	67,394	1937 (改修：2014)
Hippodrome de Vincennes	パリ	60,000	1863
Groupama Stadium	リヨン	59,286	2016
Stade Pierre Mauroy	リール	50,157	2012
Parc des Princes	パリ	47,929	1972 (改修：2016)

出所) World Stadiums

日本のクラブチームとの連携クラブ概要

日本のクラブとの協定締結等が確認されるクラブの主要スポンサー、オーナー

リーグ名 (競技)	クラブ名	主要スポンサー企業	オーナー	連携先日本リーグ・クラブ
リーグ・アン (サッカー)	AC Ajaccio	Madewis, Adidas, Ajaccio, Air Corsica, Rocca, CULLETTIVITÀ DI CORSICA, MyCoach Sport, Matchpoint Sports, LMM	Alain Orsoni	東京ヴェルディ
リーグ・アン (サッカー)	Monaco	eToro, KAPPA, VBET, FEDCOM, Triangle Intérim, TheCorner.com, Socios.com, TGI, Purnell, UFL	Dmitry Rybolovle	ロアッソ熊本
リーグ・アン (サッカー)	Olympique Lyonnais	Emirates, Adidas, MG, Alila, Teddy Smith, Groupama, OOGarden, Boulanger, Fan4All, Sorare	Jean-Michel Aulas *フランスの起業家であり、テクノロジーやエンタメ業界等に出資を行うHolnestの社長	横浜F・マリノス
トップ14 (ラグビー)	Lyon	GL Events, Matmut, Serfim, Effage, Samsic, Aoste, Implid, EM2C, Centre-est, Macron	Yann Roubert *フランスナショナルラグビーリーグ副会長	浦安D-Rocks

現地主要企業 (スポーツ用品業界)

現地主要企業 (スポーツ用品業界)

企業名称	カテゴリ	売上 (百万円、2019年度)	概要
Abeo SA	スポーツ用品	21,530	フランスに本社を置くスポーツ・レジャー用品メーカー。体操・クライミング・バスケットボールなどの競技用用品をヨーロッパ全土に展開している。
Viellard Migeon & Cie	スポーツ用品	4,418	非上場
PISCINES MAGILINE	スポーツ用品	3,596	非上場
Pormenaz SAS	スポーツ用品店	2,420	非上場
HUSSON INTERNATIONAL	スポーツ用品	2,199	非上場
BIC Sport SASU	スポーツ用品	2,183	非上場
ACSA	スポーツ用品	2,094	非上場
VMC Peche	スポーツ用品	1,920	非上場
Marlybag SAS	スポーツ用品	1,719	非上場
SVELTUS	スポーツ用品	1,356	非上場
TSL SPORT EQUIPMENT	スポーツ用品	1,249	非上場
SOFATEC	スポーツ用品	1,143	非上場
Tribord SAS	スポーツ用品	946	非上場
Egalis SAS	スポーツ用品	297	非上場
Overade SAS	スポーツ用品	126	非上場
Anyoine SAS	スポーツ用品	20	非上場

現地主要企業 (フィットネス業界)

現地主要企業 (フィットネス業界)

企業名称	カテゴリ	売上 (百万円、2019年度)	概要
BASIC FIT II	フィットネス	24,826	非上場
Low and Co SAS	フィットネス	5,648	非上場
Mov'In SAS	フィットネス	3,688	非上場
EURO-FITTING SOCHAUX	フィットネス	2,822	非上場
AREMA	フィットネス	2,519	非上場
FITLANE	フィットネス	2,385	非上場
FITNESS PARK PARIS	フィットネス	1,726	非上場
Fitnesssea Group SAS	フィットネス	1,155	非上場
G.L.C. FITNESS	フィットネス	1,075	非上場
PLANET FITNESS	フィットネス	899	非上場
GLC Fitness SAS	フィットネス	619	非上場
Duprat Concept SA	フィットネス	368	非上場
Black Ken	フィットネス	228	非上場
Compagnie des Thermes de Bourbonne-les-Bains SA	フィットネス	202	非上場
Arnouville Fitness	フィットネス	127	非上場
Odysse Form Sarl	フィットネス	81	非上場
Thermes Marins SARL	フィットネス	2	非上場

教育分野におけるスポーツの活用動向

French Ministry of National Education

- French Ministry of National Education (フランス国民教育・青少年・スポーツ省) は、パリ2024オリンピック組織委員会の支援を受けて、フランス全土の小中学校で、学校の子供たちに毎日 30 分間の運動を提供し、体を動かすよう主導している。
- この取組みを支援するために、パリ 2024 とフランス国立スポーツ庁は、教職員が毎日 30 分間の運動を行えるようにするための基本的なスポーツ用品を含むスポーツキットを提供している。

Generation 2024

- Generation 2024 プログラムは、フランス国民教育・青少年・スポーツ省、スポーツ運動、学校および大学のスポーツ連盟、教育コミュニティとの共同の取組みにより実施されている。
- Generation 2024 ラベルは、フランス国民教育・青少年・スポーツ省と高等教育・研究・イノベーション省から授与され、すべての小中学校、中学校、および大学は、ジェネレーション 2024 ラベルを申請できる。
- ラベルを授与されるためには、学校や大学は次のことを行う必要がある。
 - ・自分の地域のスポーツクラブで形成プロジェクトを構築する。
 - ・オリンピックとパラリンピックのイベントに参加する。
 - ・スポーツ施設を地域のスポーツ団体に開放し、より多くのスポーツの機会を提供する。
- Generation 2024 に参加することで、幼児から大学まで、特に最年少の学習者に焦点を当てて、スポーツやその他の身体活動、体育を促進する。

スポーツ産業に係る日本企業の進出状況

- 釣用品の販売や、スポーツマーケティングを担う企業、スポーツ用品の日本ブランドアシックスも進出。

現地法人名	日本側の主な出資企業	資本金 (Eur)	出資比率(%)	従業員数	現地法人名
Daiwa France SAS	グローブライド	156万	100	41	釣用品の販売
Asics France SAS	アシックス	不明	間接出資 もしくは不明	不明	スポーツ用品等の販売
Keneo SAS	電通グループ	不明	間接出資 もしくは不明	不明	スポーツマーケティング領域全般 のサービスの提供

商談会・展示会開催情報

- フランスでは、国内各地で、例年多くの商談会・展示会が開催されている。
- JAPAN EXPO PARISなど、日本のコンテンツを対象にした展示会も存在。

フランスで開催されるスポーツ関連の商談会・展示会（1/4）

イベント名	開催地	主催者	開催頻度	主要コンテンツ
KIDEXPO PARIS	パリ	GL Events Exhibitions	毎年	教育、スポーツ、観光・レジャー、ゲーム、おもちゃ
Esports Conex 2023 eスポーツ・コネックス	パリ	RX France	毎年	ビデオゲーム、イノベーション、貨幣化、投資
NAUTIC - SALON NAUTIQUE DE PARIS	パリ	Reed Expositions France、RX Global Events	毎年	国際パリボートショー。ヨット、モーターボート、設備、 環境、サーフスポーツ
SALON DE LA PLONGEE SOUS MARINE	パリ	HP Communication	毎年	国際スキューバダイビング展
MONDIAL BODY FITNESS	パリ	Reed Expositions France、RX Global Events	毎年	フィットネス、健康、福祉のためのフェア
SALON DESTINATIONS NATURE	パリ	Rando Expo	毎年	観光、旅行、アウトドアエキスポ
VÉLO IN PARIS	パリ	Pro-Days	毎年	自転車フェア
PRO-DAYS	パリ	SEFA Events	毎年	プロ自転車フェア

商談会・展示会開催情報

フランスで開催されるスポーツ関連の商談会・展示会（2/4）

イベント名	開催地	主催者	開催頻度	主要コンテンツ
JAPAN EXPO PARIS	パリ	SEFA Events	毎年	日本のレジャーフェスティバル。マンガ、武道、ビデオゲーム、日本の民間伝承、Jミュージック、伝統音楽
JEC World 2022	パリ	JEC Group	毎年	カーボンファイバー(CFRP, CFRTP)、GFRP、強化プラスチック (FRP) など金属以外の複合材料を用いた製品の展示会
SALON STUDYRAMA DES FORMATIONS DE LA SANTÉ ET DU SPORT DE LYON	リヨン	Studyrama	毎年	医療・スポーツ産業研究に特化した学生フェア
EQUITA LONGINES	リヨン	GL Events Exhibitions	毎年	国際馬展。乗馬の装備、馬車と馬箱、厩舎、馬の健康と栄養、乗馬観光、ポニークラブ、乗馬センター、組織を紹介
PAYSALIA	リヨン	GL Events Exhibitions	2年ごと	ランドスケープ、ガーデン、スポーツ展
SPORT ACHAT – LYON	リヨン	Sportair SAS	毎年	山、ウォータースポーツ、アウトドアなどスポーツの専門家に捧げられた見本市
KIDEXPO LYON	リヨン	GL Events Exhibitions	毎年	教育、スポーツ、観光とレジャー、ゲーム、おもちゃ
LE MILLE SABORDS DU CROUESTY	アルゾン	Le Mille Sabords du Crouesty	毎年	ヨーロッパの中古ボートショー

商談会・展示会開催情報

フランスで開催されるスポーツ関連の商談会・展示会（3/4）

イベント名	開催地	主催者	開催頻度	主要コンテンツ
SALON DES CHASSEURS DU GRAND SUD	トゥールーズ	GL Events Exhibitions、Toulouse Expo	毎年	狩猟
SALON EUROPÉEN DES PÊCHES	ナント	Exponantes	毎年	海洋漁業、漁船の展示会
NATURAVENTURE	モンペリエ	Montpellier Events、	毎年	ネイチャースポーツフェア。レース、ハイキング、乗馬、サイクリング、登山、スキー、カヌー、サーフィン、セーリング、釣り
EQUITAIN	ボルドー	Congrès et Expositions de Bordeaux	毎年	馬に関するショー
SALON SANTÉ, SOCIAL, PARAMÉDICAL & SPORT - LILLE	リール	L'Etudiant	毎年	健康、医療、社会セクターの分野でトレーニングコースを見つけたい学生のためのフェア
TOURISSIMA LILLE	リール	Comexposium	毎年	観光とレジャー
MOUNTAIN PLANET	グルノーブル	SAEM Alpexpo	2年ごと	山岳専門のマウンテン機器
MIEUX VIVRE EXPO	ラ・ロシュ＝シュール＝フォロン	Rochexpo - Foire de la Haute-Savoie Mont-Blanc	毎年	福祉とレジャーの博覧会
LE SALON DES MIGRATEURS	カイユー＝シュール＝メール	Versicolor Événements	毎年	渡り鳥の狩猟に特化したハンティングショー

商談会・展示会開催情報

フランスで開催されるスポーツ関連の商談会・展示会 4/4)

イベント名	開催地	主催者	開催頻度	主要コンテンツ
GRAND SKI	シャンベリー	ATOOUT FRANCE (Agence de développement touristique de la France)	毎年	スキー、山、観光の専門家の展示会
JOURNÉES PROFESSIONNELLES ESF	タルブ	Tarbes Expo Pyrénées Congrès	毎年	フランスのスキーインストラクターの全国連合
SALON DES SÉNIORS DE NEVERS	ヌベール	Nivexpo	毎年	高齢者向け。旅行代理店、協会、住宅改修、スポーツホール、健康、パーソナルサービスの専門家が出席
SALON HOPA	ビアリッツ	Expomedia	2年ごと	観光、アウトドアレジャー機器の見本市
NEXT SUMMER	アルベールビル	Sportair SAS	毎年	ハイキング、ビボアシング、トレイルランニング、ハイキング、マウンテンバイク、アウトドア材料、設備
RICV - RENCONTRES INTERNATIONALES DE CERFS-VOLANTS	ベルク	Office de Tourisme de Berck	毎年	国際凧まつり
LE TEMPS DES HÉLICES - MEETING AERIEN DE LA FERTE-ALAIS	ラ・フェルテ＝アレ	AJBS (Amicale Jean-Baptiste Salis)	毎年	古い飛行機の見本市、空中デモンストレーション

国際競技大会開催情報

フランスで開催予定の国際競技大会

大会名	開催時期	主催者	開催周期	参加国数	参加選手数	摘要
AUDI FIS SKI WORLD CUP 2022/23 MEN	2023年2月3日～ 2023年2月4日	国際スキー連盟	毎年	20	200	—
FIS ALPINE WORLD SKI CHAMPIONSHIPS WOMEN	2023年2月	国際スキー連盟	2年	20	350	—
Paris 2024 Test Event	2023年8月	国際セーリング連盟（World Sailing）	4年	—	—	—
RUGBY WORLD CUP（男子）	2023年9月8日～ 2023年10月21日	WORLD RUGBY	4年	20	620	—
2024年パリオリンピック	2024年7月26日～ 2024年8月11日	国際オリンピック委員会	4年	—	—	—
パリ2024パラリンピック競技大会	2024年8月28日～ 2024年9月8日	国際パラリンピック委員会（IPC）	4年	—	—	—
世界選手権大会	2025年	世界バドミントン連盟	毎年	16	140	—

スポーツ基本計画概要

- 2024年に開催予定のパリオリンピック・パラリンピックのレガシーの一環として策定された、スポーツと健康に関する中期目標「Stratégie Nationale Sport Santé 2019-2024」が策定されている。

フランスにおけるスポーツ基本計画概要

計画名称	Stratégie Nationale Sport Santé 2019-2024
策定年	2019
計画概要	<p>2024年に開催予定のパリオリンピック・パラリンピックのレガシーの一環として策定された、スポーツと健康に関する中期目標。</p> <p>(1) 運動・スポーツを通じた健康とウェルビーイングの促進 (2) 治療目的でのスポーツの活用促進 (3) アスリートの健康保護、練習における安全性の強化 (4) スポーツ習慣が人々の健康にもたらす影響に関する認知の拡大、の4つを軸としている。</p>
主要目標・施策	<p>(1) 運動・スポーツの奨励</p> <ul style="list-style-type: none"> 「2024年世代」の育成と位置付け、学校教育にオリンピズムやスポーツの推進を取り入れる <p>(2) 治療目的でのスポーツの活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 慢性疾患を持つ患者に適切な運動アドバイスを提供するため、2021年までにオンラインプラットフォームを構築する <p>(3) アスリートの健康と安全</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ関係者の意識改革や監督者の研修の強化、ドーピングのリスクを周知させる <p>(4) スポーツがもたらす好影響の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ連盟の健康に関するモニタリング調査を強化。医療経済学的な観点を取り入れた研究・調査を実施
主要KPI	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ省はスポーツ施設の改修・建設に2000万ユーロを投資し、スポーツ施設が不足している地域に優先して建設する。2019年末までに100、2022年までに500のスポーツ・ヘルスケア関連施設の設置が目標。

SDGsへのコミットメント・取組

政府によるSDGsに関する取組

- SDGsの達成度合いを示すランキングでは、世界6位。
- 達成度合いが高い項目は「貧困の撲滅」である。
- 特に課題が残る項目は「持続可能な消費と生産」、「気候変動への対処」である。

SDGs17ゴールの達成状況



- : SDGsを達成している
- : 課題が残る
- : 重要課題が残る
- : 主要課題が残る
- : 情報入手不可
- ↑ : SDGs達成の見込み、または達成している
- ↗ : 穏やかに改善
- : 停滞
- ↓ : 悪化
- : 傾向把握不可

「女性の活躍推進」に関する取組

政府による「ジェンダー平等」に関する取組

- Sustainable Development Report 2023によると、「ジェンダー平等」の項目は、課題が残っている状況。
- 「ジェンダー平等」に係る要素のうち、下記の項目は達成している。
 - 近代的手法によって、家族計画についての自らの要望が満たされている出産可能年齢（15～49歳）にある女性の割合
 - 労働力率の男女比
- 「ジェンダー平等」に係る要素のうち、下記の項目は達成できていない。
 - 教育を受けた平均年数の男女比
 - 女性議員の議席数
 - 男女の賃金格差

「女性の活躍推進」×スポーツの事例

- 女子自転車レース「Tour de France Femmes」の開催（2022年～）
 - 2022年に女性の自転車レース「Tour de France Femmes」が数十年ぶりに開催された。
 - フランスの自転車レース大会「Tour de France」にはこれまで女性は参加できなかった。「Tour de France Femmes」が開催されることで、男女平等を推進し、自転車競技における女性の強さと能力を示す重要な一歩となると考えられている。
 - レースにはスポンサーとして仮想自転車トレーニングプラットフォームを提供する「Zwift」や運動トラッキングアプリ「Strava」といった企業が参画している。あるチームは、テレビプロバイダー「GCN+」と提携し無料で視聴できるサブスクリプションを提供する等、注目を集める取組を行っている。
 - 一方、選手達の経済的負担は、女性自転車競技者のための業界団体「The Cyclists Alliance」等の取組により、軽減されているものの、依然として経済的負担は大きく、改善の余地がある。



「健康・福祉」に関する取組

「健康・福祉」に関する取組

■ Sustainable Development Report 2023によると、「健康・福祉」の項目は、主要な課題が残っている状況である。

■ 「健康・福祉」に係る要素のうち、下記の項目は達成している。

- 妊産婦死亡率
- 新生児死亡率
- 5歳未満児死亡率
- 心血管疾患、癌、糖尿病、又は慢性の呼吸器系疾患の死亡率
- 非感染者1,000人当たりの新規HIV感染者数
- 出生時平均余命
- 女性1,000人当たりの青年期の出生率
- 10万人当たりの結核感染者数
- 家庭内及び外部の大気汚染による死亡率
- 道路交通事故による死亡率
- WHOが推奨するワクチンを2回接種した乳児の生存率
- ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) のサービス普及率指数
- 主観的幸福度
- 所得による健康状態の自己申告の格差

■ 「健康・福祉」に係る要素のうち、下記の項目は達成できていない。

- 専門技能者の立ち会いの下での出産の割合
- 出生時平均余命の地域間格差
- 15歳以上の現在の喫煙率

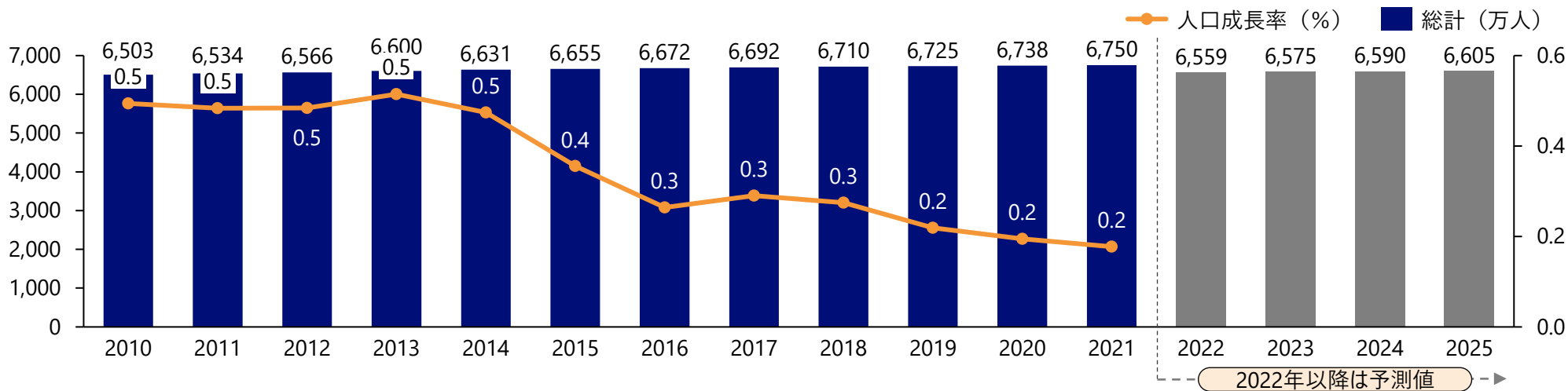
「健康・福祉」×スポーツの事例

■ 「Bicycle and Active Mobility Plan」 (2018年)

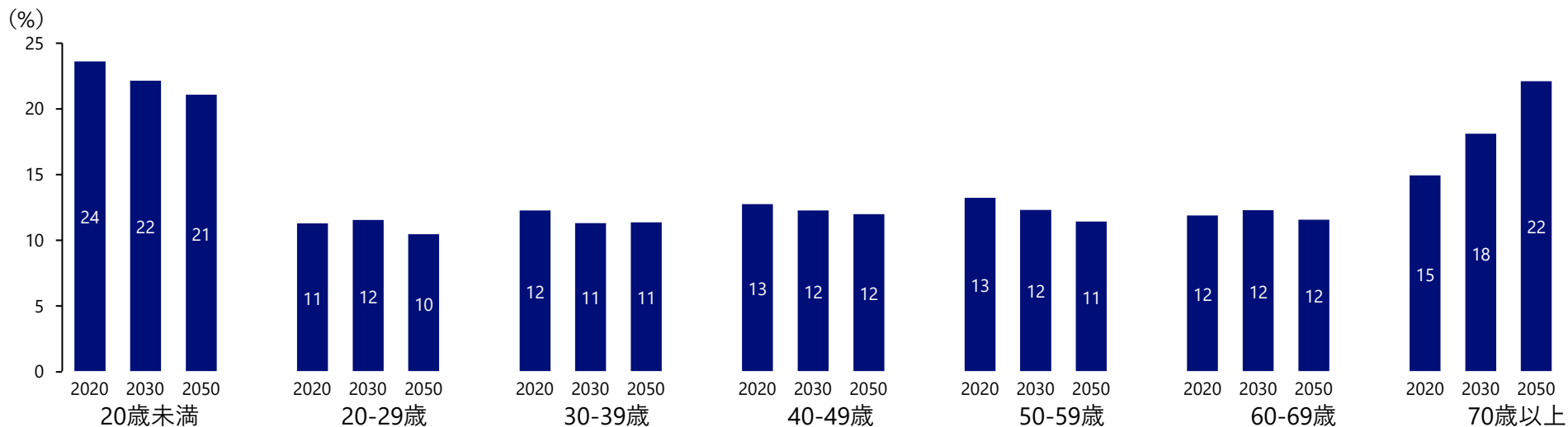
- フランス環境連帯移行省は、国民の身体活動と健康的な習慣を促進するための計画「Bicycle and Active Mobility Plan」を発表した。
- 目標は、2024年までに自転車による日常移動の割合を 2.7% から 9% に増やすことであり、そのために①サイクリングルート of 環境整備、②自転車の安全確保、③インセンティブの創出、④自転車文化の発展の4つの施策を行った。
- この計画の下、2020年春には「Coup de pouce vélo (サイクリングにちょっとした手助けを)」という修理・駐輪等の費用に対する2,000万ユーロのインセンティブを導入し、フランス国民の自転車利用を促進した。

人口動態、および人口成長率・年齢別人口構成

人口動態、および人口成長率



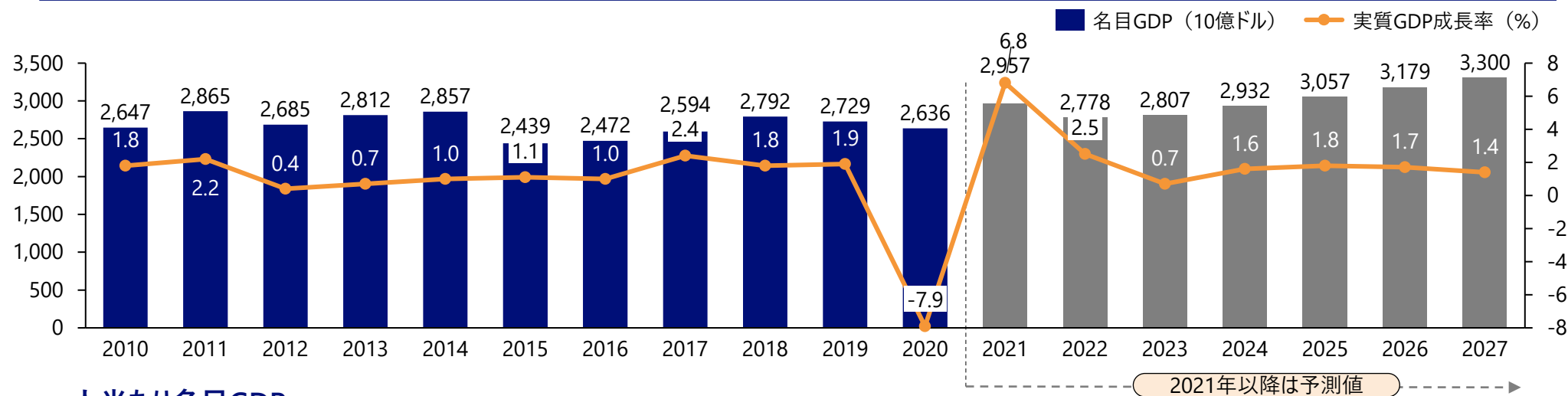
年齢区分別人口構成



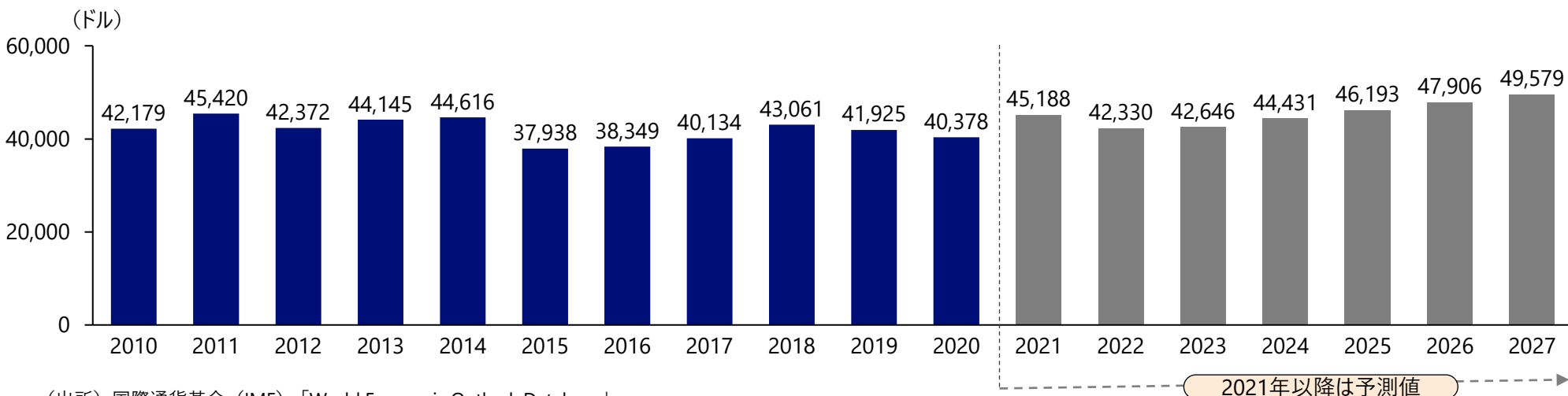
(出所) 世界銀行「World Development Indicators」、国際連合「World Population Prospects」

GDP、GDP成長率、一人当たりGDP

名目GDPおよび実質GDP成長率



一人当たり名目GDP

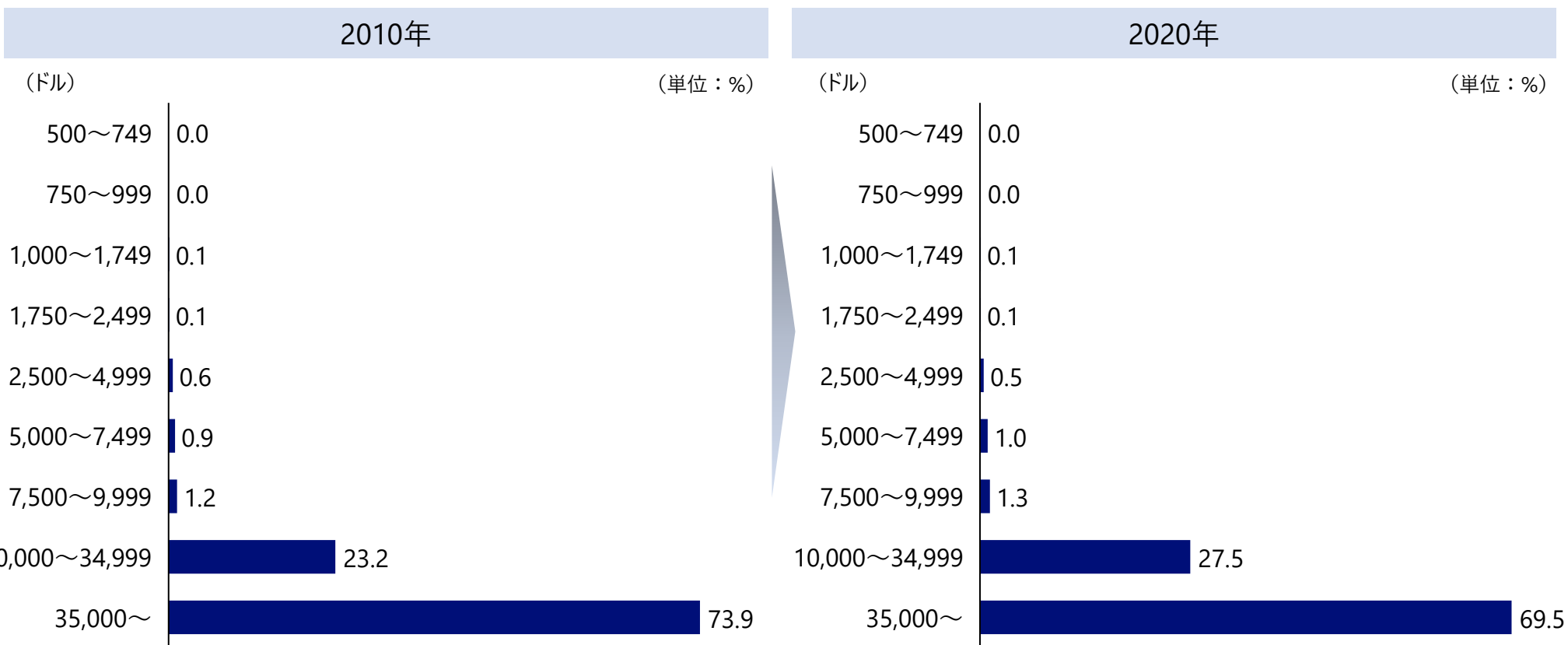


(出所) 国際通貨基金 (IMF) 「World Economic Outlook Database」

世帯所得分布

■ 2010年には25.3%であった中間所得層（世帯所得5,000～34,999ドル）が、2020年には29.8%に増加。

世帯所得分布

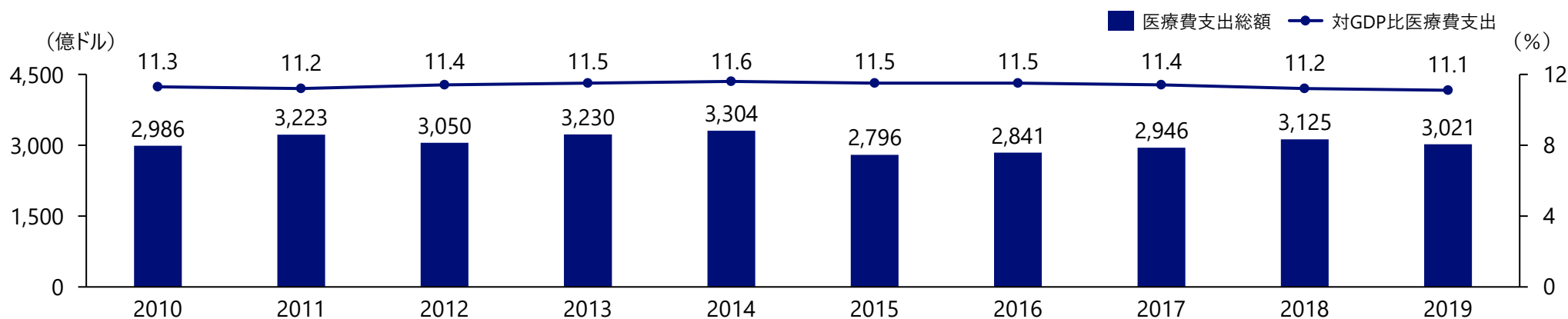


(出所) ユーロモニター

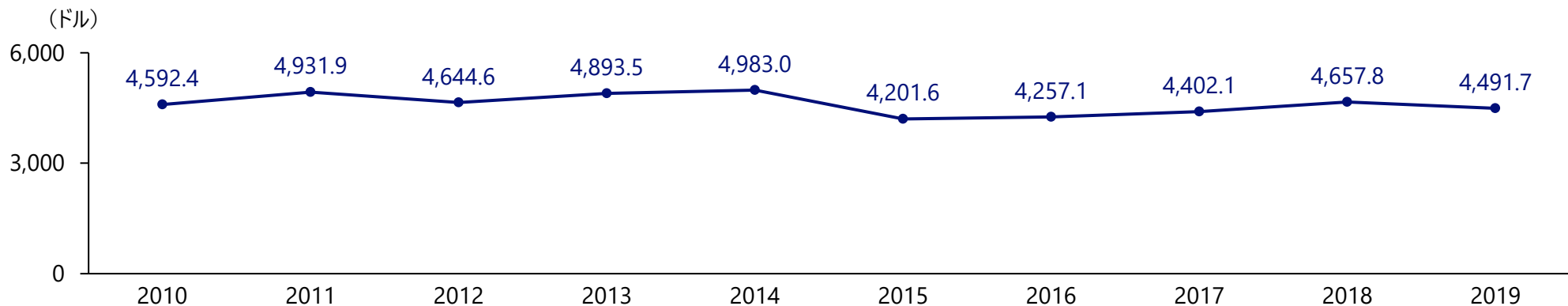
医療費支出

- 2018年の医療費支出は3,147億USDドル (約35.9兆円) で、対GDP比で11.3%。
- 2018年の一人当たり医療費は4,690.1USDドル (約53.5兆円) であった。

医療費支出総額と対GDP比医療費支出



一人当たり医療費推移



(出所) 世界保健機関 (WHO) 「Global Health Expenditure Database」

疾病構造・死亡要因

■ 主要疾患（死亡要因）の内訳としては、虚血性心疾患が最も多く、脳卒中や糖尿病、慢性腎臓病が多い。

疾病構造（死亡要因）の内訳（2019年）

順位	疾病名	割合
1	Ischemic heart disease（虚血性心疾患）	11.33%
2	Alzheimer's disease（アルツハイマー病）	7.63%
3	Stroke（脳卒中）	7.43%
4	Lung cancer（肺がん）	6.66%
5	Colorectal cancer（結腸直腸がん）	4.23%
6	Lower respiratory infect （下呼吸器感染症）	3.83%
7	Falls（転倒）	3.01%
8	COPD（慢性閉塞性肺疾患）	2.91%
9	Breast cancer（乳がん）	2.54%
10	Prostate cancer（前立腺がん）	2.40%

順位	疾病名	割合
11	Pancreatic cancer（膵臓がん）	2.33%
12	Diabetes（糖尿病）	2.12%
13	Chronic kidney disease（慢性腎臓病）	2.11%
14	Self-harm（自傷）	1.83%
15	Cirrhosis（肝硬変）	1.78%
16	Other cardiovascular（その他の心血管）	1.73%
17	Atrial fibrillation（心房細動）	1.53%
18	Hypertensive heart disease （高血圧性心疾患）	1.42%
19	Nonrheum valv diseases （非リ्यूーム弁疾患）	1.38%
20	Parkinson's disease（パーキンソン病）	1.33%

運動習慣が発症・進行に関与するとされる疾患群（出所：厚生労働省「健康寿命を延ばそう SMART LIFE PROJECT」）

（出所）保健指標評価研究所（IHME）「Global Burden of Disease Study: GBD」

外資に関する規制

カテゴリ	概要
規制業種・ 禁止業種	<ul style="list-style-type: none"> 原則として全ての外国企業は、フランスへの直接投資における事前認可や届出は不要。 例外として、公安・治安・国益を脅かす投資、武器・弾薬・爆発物の研究・製造・売買の業種について、経営権掌握、もしくは25%超の議決権を取得する場合は、経済・財務・復興省の事前認可が必要。 事前認可の対象となった投資案件は、実施後に届出の義務も発生する。
出資比率	<ul style="list-style-type: none"> 原則、100%外資による出資も認可される。
外国企業の 土地所有の可否	<ul style="list-style-type: none"> 原則として自由。
資本金に関する 規制	<ul style="list-style-type: none"> 原則として自由だが、1,500万ユーロを超える直接投資で、以下に該当する場合はフランス銀行（中央銀行）への届け出が必要。 <ul style="list-style-type: none"> フランス企業における10%以上の資本・議決権の獲得及び清算 グループ間企業内での貸借 不動産投資
その他規制	—

（出所）JETRO「日本からの進出に関する制度/外資に関する規制」